

私たちの挑戦で、未来を変えよう。セブン&アイグループの環境宣言 『GREEN CHALLENGE 2050』 WEB ページをリニューアル

株式会社セブン&アイ・ホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井阪 隆一)は、セブン&アイグループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』の WEB ページを 12 月 23 日(水)にリニューアルいたしました。

2019年5月に策定いたしました『GREEN CHALLENGE 2050』では、「CO2 排出量削減」「プラスチック対策」「食品ロス・食品リサイクル対策」「持続可能な調達」という4つのテーマを掲げております。

今回の WEB ページリニューアルでは、それぞれのテーマで、ご自身の生活の中で誰もが取り組むことが出来る具体的な環境負荷の軽減策をご提案するとともに、セブン&アイグループの環境に対する取り組みを随時ご紹介してまいります。

セブン&アイグループは今後も、未来世代に豊かな生活や地球環境を届けていく「持続可能な社会」づくりに取り組んでまいります。

◆『GREEN CHALLENGE 2050』新 WEB ページ

URL : https://www.7andi.com/csr/g_challenge.html



【リニューアルのポイント】

① ビジュアルデザインを一新

子どもから大人まで幅広い世代の人物が登場することで、“環境問題への取り組みは誰でもすぐに行えることができる”というメッセージを、身近なイメージで表現しました。パソコン、スマートフォンともに横へスクロールする仕様とし、「4つのテーマ」を横並びでご覧いただけるページ構成となっております。



②日常生活でできる環境負荷の軽減策を提案

③セブン&アイグループの取り組みを紹介

例) プラスチック対策

←戻る

これからの
プラスチックとの
付き合い方。
美しい海を
守るための話。

海に捨てられたプラスチックごみは雨で流れて毎年800万トン以上のプラスチックが海に流れついています。
この数はやがて海の魚の量よりも多くなると言われてます。
*参考 環境省 水産庁 水産資源課

未来を少しでも変えるために、
私たちができること

No. 01

買い物をするときは
マイバッグを持参し、
レジ袋はもらわない

日本では毎年約6億個のレジ袋が使われています。
毎日の生活で少しづつ減らしましょう。
*参考 環境省 中央環境議合 専門委員会資料より

No. 02

本体ボトルは繰り返し使用し、
詰め替え用を購入する。

No. 03

ゴミは所定の場所と時間に、
分別して出す

プラスチックはリサイクル可能な素材。
ふるふる選ってゴミを分別して出すことで、リサイクルできるよう
にしましょう。

セブン&アイグループの取り組み
ペットボトル回収機を設置

セブン&アイグループの店舗にペットボトル回収機を設置し、
年間で約2億5000万本*のペットボトルを回収。
回収されていたペットボトルは新しいペットボトルや瓶
蓋などに再生されています。
*2019年度実績

環境アクション

ページトップへ

②日常生活でできる環境負荷の軽減策を提案

「4つのテーマ」それぞれのページで、誰もがご自身の生活の中で取り組むことができる具体的な環境負荷の軽減策を紹介。

私たちが日々の暮らしを通じて持続的に環境負荷軽減に取り組むことで、地球環境の保全に貢献出来る取り組み例をご提案します。

③セブン&アイグループの取り組みを紹介

「4つのテーマ」毎に、セブン&アイグループの環境への取り組みを横断的に表示し、写真・グラフを用いて、随時ご紹介いたします。

以上